

50代、イマこそ「還暦上等」を叫ぶ！

～昭和から元気をもらおう！【開催報告】



2022年1月22日(土)・2月5日(土)・3月19日(土) 全3回開催

『昭和40年男』編集長の北村明広氏をお迎えし、人生100年時代の折り返しを迎える50代を中心としたミドルエイジ世代の受講者にお集まりいただきました。

多感な時期を昭和とともに過ごしたミドルエイジ世代、懐かしの昭和コンテンツ・モノを語り「地域で仲間とつながろう」を目的に講座を開催しました。

第1回 コンテンツ編～夢中にさせられたあれこれのヒットに潜む謎

始めに講師の北村氏からの自己紹介がありました。その後、受講者の皆様に一人ずつ前へ出てもらい、1分～1分半の自己紹介を行っていただきました。自己紹介で場の雰囲気が和んだ後は、北村氏からスライド投影による「昭和のコンテンツ」についての講義を受けました。

「昭和のコンテンツ・モノ」が懐かしい・面白いだけでなく、親世代の戦争体験が昭和時代に影響していたこと、上の世代が持っていた情熱をこれからは下の世代に引き継いでいかなければならない、という北村氏の思いに共感しました。



第2回 モノ編～次々と生まれた魅惑のモノたちに込められた情熱



前半は「昭和のモノ」について、受講者の皆様に一人ずつ前へ出てもらい、発表していただきました。事前提出物の「昭和シート」を元に北村氏と受講者のクロストークがあり、楽しく盛り上がった発表時間でした。後半はゲストに高橋氏をお迎えし、スライド投影による「昭和のモノ」についての講義を受けました。戦後の混乱時から上の世代が必死で日本を立て直してくれたことや、今は珍しい近所の「怖いおじさん」や「駄菓子屋さん」等子どもを見守ってくれた「大人たちの愛」について考えさせられました。

講座終了後、北村氏・高橋氏と受講者の皆様（一部）で集合写真を撮らせていただきました。（撮影時のみマスクを外しています。）

第3回 FUJISAWAワイガヤ会議～ワタシの昭和をシェアしよう

最終回はグループワークを取り入れたい、という北村氏の希望により、当初の開催日から1か月延期して開催しました。つながりを求めて本講座を受講された方が多く、皆様和気あいあいと大変にぎやかにグループトークしてました。また各自が選ぶ「昭和コンテンツ&モノ」ベスト3の投票と「昭和おらがグッズ自慢」をグループごとに選出し副市長による優勝グッズの発表で、大変盛り上がりしました。

北村氏のアジテーション「『強いシンパシー（共感）で創るコミュニティ』で、デジタル社会における歪みと渴きをやっつけよう」「行政におぶさるのではなく、自分たちの地域は自分たちで守る。」に皆様賛同されていました。

講座の締めくくりに、投票結果「藤沢市が選ぶ昭和コンテンツ&モノランキング」をベスト5まで発表しました。第1位は「松田聖子」で、盛大な拍手の中、講座が終了しました。



講師の北村様、ゲストの高橋様、受講者の皆様、ありがとうございました！